



国立大学法人
豊橋技術科学大学

IT食農先導士養成プログラム 第2期生募集

(最先端土地利用型IT農業コース) 募集期間:2017.9.1~10.20

◆概要・目的



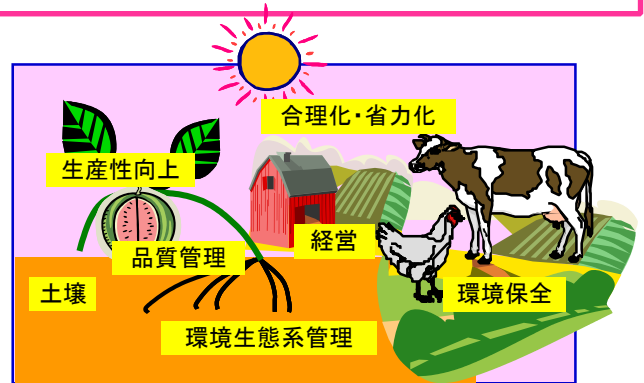
受講期間:2017年12月~2019年3月(1年4か月)
募集人員:5名
応募資格:
● 高等学校卒業以上の学歴を有する方
● 東三河及び周辺地域に在住・在勤の方
● IT農業に関心がある方
● 自宅でインターネットに接続できる方
受講料:5万円
(※ただし、現地研修等で実費個人負担がある場合があります。)

事業概要

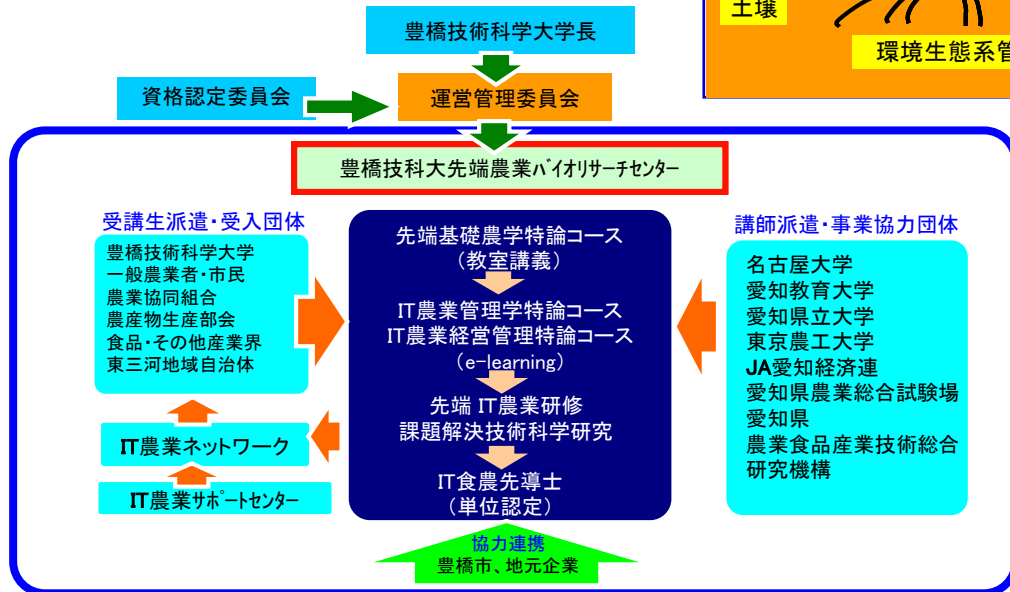
豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。

豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンターが愛知県と地域自治体の連携のもと、「IT食農先導士養成プログラム(土地利用型IT先端農業コース)」事業を実施。「IT食農先導士」を養成。

生産環境に左右される農業に、先端的技術科学の情報と工学技術を体系的に導入し、IT生産管理・IT経営管理のできる人材



◆実施体制



◆受講生のメリット

- ① プログラムの習得により農商工融合分野の最新知識を有する「IT食農先導士」の称号が豊橋技術科学大学から授与される。
- ② 各種営農資金などの応募に際し、自治体や地域信用金庫から積極的な情報提供が受けられる。
- ③ 「IT農業ネットワーク」の形成によって、連携した営農と地域の中核農業者となる。
- ④ 豊橋技術科学大学「IT農業サポートセンター」より最新のIT情報と農業情報が提供される。
- ⑤ 農商工連携、農業の6次産業化のノウハウが得られる。



Brush Up Program
for professional

本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/itagri/entry.html>]より志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。

申込先 ▶ 国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
〒440-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL 0532-44-6655 E-Mail: sendoshi@recab.tut.ac.jp

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108 e-mail: sendoshi@recab.tut.ac.jp URL: <http://www.recab.tut.ac.jp>

主催: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催: 豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市 次世代「農力」UPアカデミー事業 補助金、株式会社サイエンス・クリエイト

IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)

【教室講義】

科目名	内容	日程	講師
先端基礎農学特論	土壌植物栄養学	栽培の基本となる土壌科学、植物栄養学、植物生理学を講義	2017年12月2日(土) 東北大学 名誉教授 2017年12月10日(日) 三枝正彦
	農業統計学	資源動植物の生育、収量データを、統計解析演習を含めて講義	2017年12月23日(土) 獨協大学 経済学部 専任講師 2018年1月6日(土) 李 凱
	資源植物学	水稲、普通畑作物、工芸作物、蔬菜、果樹、花きの特性等を講義	2018年1月20日(土) 豊橋技術科学大学 先端農業・ 2018年1月27日(土) バイオリサーチセンター特任助教 熊崎 忠
	農業経営学	持続的安定農業経営を行うための基礎的理論等を講義	2018年2月3日(土) 名古屋大学 名誉教授 2018年2月10日(土) 竹谷裕之
	植物保護学	植物の生育を左右する病原菌、害虫の総合防除法などを講義	2018年2月17日(土) 愛知県農業総合試験場 2018年2月24日(土) 環境基盤部病害虫研究室 室長 三宅 律幸
	ビジネスプラン論	ビジネスプランを作成するための経営戦略・事業戦略の立案手法、理論等を講義	2019年2月～3月 を予定しています

【e-ラーニング】

科目名	内容	講師	
IT農業管理特論	圃場－作物栄養診断	土壌診断や作物栄養診断について、生産現場で実践可能な簡易診断法を含めて講義	東北大学 名誉教授 三枝正彦
	6次産業実践論	ケーススタディによる事例紹介、ケースメソッドによる想定課題に対する解決方法の検討などを通して、6次産業化の現場で必要とされる知識の習得を図る。	食と農研究所 加藤寛昭
	IT精密農業論	精密農業の特徴や独自性、その技術体系および農業ロボットについて講義	東京農工大学 農学研究院 澁澤 栄
	環境保全型農業論	農薬や化学肥料の使用を抑え、自然生態系本来の力を利用して行う農業。農業のもつ物質循環機能を生かし環境と調和した持続可能な農業生産のあり方を習得する。	東北大学 名誉教授 三枝正彦
	バイオマス活用論	バイオマスの農業利用、特にコンポストやエネルギーとしての利用について講義	国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 平内央紀
	農業環境計測論	植物の生育を左右するフィールドの環境要因に加えて経営要因等の計測方法を学ぶ。	日本大学 生物資源学部 梅田大樹
IT農業経営管理特論	情報管理論	農業現場に必要とされる農業情報の収集・分析及び加工・配布方法を学ぶ。また、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelによるデータ管理・分析、ネット販売システムの基礎など農業情報のための情報処理ツールを習得する。	愛知県立大学 情報科学部 入部百合絵
	環境経営論	本講義では農業従事者が知っておくべき環境問題(循環型社会、地球環境問題、水質、廃棄物...)をわかりやすく解説するとともに、そのような環境影響を評価する方法について学習する。	東洋大学 情報連携学研究所 後藤尚弘 豊橋技術科学大学 井上隆信
	知的財産管理	農業技術やその関連産業で生み出される知的財産の情報管理について学び、地域特産物のブランド化に関する権利取得法等についても学ぶ。	SANSUI 国際特許事務所 井川浩文、小西俊春
	農業マーケティング論	ビジネス創出のために、経営理念の立て方、SWOT分析、マーケティングの基礎知識を講義	MORE経営コンサルティング(株) 日野眞明 地域ビジネス研究所 中野和久
	農業支援政策論	農業生産・経営を行う上で、必要な様々な関係法規について学習する。	名古屋大学 名誉教授 竹谷裕之
食農リスク管理論	農畜産物の安全・安心の確保を目的とするトレーサビリティシステムの概要を学び、農産物の生産現場へのGAP導入の実務についても学ぶ。	豊橋技術科学大学 名誉教授 平石 明 東北大学 名誉教授 三枝正彦 豊橋技術科学大学 田中三郎 イノチオアグリ(株) 山本英治	

【その他】

※先端IT農業研修は5か所程度を予定しています。
 ※教室講義の講師・日程等は変更になる場合があります。